

ニューズレター No.101

発行人 谷川 裕稔

2017(平成 29)年 12 月 17 日発行

日本リメディアル教育学会、ニューズレターNo.101をお届けいたします。今回は、

- (1) 北海道支部長の就任について
- (2) 第 6 回関東・甲信支部大会案内
- (3) 東北支部・ICT 活用教育部会合同研究会の案内
- (4) 第 10 回 関西支部大会開催報告
- (5) 英語部会共催特別企画の開催報告
- (6) 第 3 回北海道支部大会開催報告
- (7) 英語部会共催行事(2017 冬期)の開催報告

についてお知らせいたします。

北海道支部長の就任について

北海道支部長に今井順一氏(千歳科学技術大学)が就任いたしました。

第 6 回 関東・甲信支部大会案内

■日時: 2018 年 2 月 9 日(金)10:00~17:00

■会場: 高崎経済大学

〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町 1300

■プログラム:

- 10:00~12:00 午前の部 講演会
大森昭生 氏(共愛学園前橋国際大学学長)
- 13:00~17:00 午後の部
受付(名札・予稿集の配布)
開会式・総会 研究発表会
(研究発表 15 分+質疑応答 5 分)
名刺交換会

【講演】

大森昭生 氏(共愛学園前橋国際大学学長)による講演(演題は未定)。共愛学園前橋国際大学におけるさまざまな大学改革の取り組みと 2018 年 問題や高大接続改革と対峙しなければならない

これからの大学教育の展望についてお話しいただけます。なお、詳しいプログラムの公開は 1 月を予定しています。

■参加費: 無料。「参加申込フォーム」よりお申し込みいただければ当日名札をご用意いたします。

■企業展示: 賛助会員は無料。非会員企業は 5,000 円。
(会場で賛助会員になっていただくことも可能です)

■参加申込フォーム:

<https://goo.gl/forms/09WdAomyjwV1K7W92>

■申込締切: 一般参加:2018 年 2 月 2 日(金)

研究発表:2017 年 12 月 15 日(金)

(予稿集原稿は 2018 年 1 月 9 日(火)にご提出いただきます)

■問い合わせ先:

上記「参加申込フォーム」または高松正毅 takamas@tcue.ac.jp までお願いします。

東北支部・ICT 活用教育部会合同研究会案内

以下の日程で、第 2 回の東北支部大会並びに ICT 活用教育部会研究会を合同で開催いたします。今回は、大学 e ラーニング協議会との合同フォーラムを予定しております。会員の皆様、ぜひご参加くださいますよう、お願いいたします。また、本学会の活動内容にご関心がおありの方が身近にいらっしゃいましたら、遠慮なくお問い合わせの上、ご参加ください。

■日時: 2018 年 2 月 28 日(水曜日)9 時~18 時

大学 e ラーニング協議会総会・フォーラム

3 月 01 日(木曜日)9 時 30 分~16 時(受付開始 9 時)

日本リメディアル教育学会東北支部・ICT 活用教育部会/大学 e ラーニング協議会(第二・第三部会)合同研究会

※東北支部の方はぜひ 9 時 30 分からの総会にご出席ください。

■会場: 1日目と2日目で会場が変わります。ご注意ください。

1日目: 岩手県立大学 滝沢キャンパス(岩手県滝沢市菓子 152-52)

2日目: 岩手県立大学 アイーナキャンパス(岩手県盛岡市盛岡
西通1丁目 7-17 階)

■プログラム:

<1日目> 2月28日 大学eラーニング協議会フォーラム

9:00-10:40 事例報告会(1): ICT活用事例

1. 入学前教育の事例(岩手県立大学)
2. 初年次教育・アクティブラーニング+反転の事例(愛知大
学)
3. コンピテンシーを意識した CBT 活用(千歳科学技術大学)

11:00-12:00 共通基盤システム(CIST-Solomon)の利用方法
及び教材紹介

11:00-17:40 企業展示

11:00-12:20 幹事校ミーティング(幹事校のみ)

13:00-13:30 大学eラーニング協議会 総会(会員大学のみ)

13:40-14:00 開会

14:00-14:30 基調講演(1) 文部科学省高等教育局専門教育
課 課長補佐 山路 尚武

14:30-15:10 基調講演(2) 九州工業大学 学長 尾家 祐二

15:25-15:45 出展企業の紹介

15:45-17:25 事例報告会(2): ICTの組織的導入(第一部会)

1. ポスター発表者のライトニングトーク(15:45-16:15)
2. ポスターセッション(16:25-17:25)

17:30-17:35 次期代表幹事校挨拶

17:35-17:45 閉会

19:00 情報交換会 ※参加費 5,000円/人【盛岡駅周
辺】

<2日目> 3月1日(木)日本リメディアル教育学会東北支部・ICT
活用教育部会/大学eラーニング協議会(第二・第三部会)合
同研究会

9:00 受付開始

9:30-9:50 東北支部 総会

10:00-15:50 口頭発表

15:50-16:00 閉会式

■参加費: 無料

■発表形式: 口頭発表: 発表時間 20分(15分, 質疑応答 5分)
PC持ち込み可(学内 LAN 接続不可)

■配布資料: 予稿集の発行予定を予定しております。

■情報交換会: 5,000円/1人 前日2月28日予定
会場: ジャーランジャーラン(盛岡駅周辺)

(詳細が決定次第, 申込者等へご連絡いたします)

■発表申込: 2017年12月27日(水曜日)締切

■発表原稿提出: 2018年1月31日(水曜日)締切

■参加申込: 2018年2月13日(火曜日)締切

■申込方法: 発表・参加いずれも、申込書に記載し、電子メールに
添付し、申し込む

第10回 関西支部大会開催報告

日本リメディアル教育学会関西支部会では、第10回関西支部大
会を開催しました(参加者12名)。参加者からは高等学校の教員を
登壇させて欲しいとの希望がありました。今回、基調講演をお願い
した小川会員も元埼玉県高校教員ですが、今後も、高等学校での
指導経験のある教員の話、積極的に取りあげていきます。地元
の県教委との窓口を担える会員を発掘し、今後の支部活動の柱に
していきます。

■日時: 2017年10月28日(土) 13:00~16:30

■場所: 滋賀大学彦根キャンパス

■プログラム

13:00-14:30 基調講演

小川 洋氏「消えゆく限界大学—私立大学定員割れの構造—」

15:00-16:30 書評・意見交換

<講演要旨>

最近、「Fラン大学」という言葉を見聞きすることが増えた。言外に、
「入学に競争がない大学には意味がない」と言っているように聞こ
える。しかし大学の存在理由は、良質な教育活動と研究活動が行
われていることであり、入学に競争があるかないかは別問題である。

18 歳人口の減少過程に入る来年度以降、入学競争は全般に低下することが予想され、実質的に競争試験の成り立たない大学が増加していくことは確実である。さらに専門職業大学(仮称)の構想が具体化されれば、大学の内実を欠く中小私大は、大学に「昇格」する専門学校と競合する数多の学校のなかに埋没し、その相当数は消えていかざるをえないだろう。若年人口が減少するなかで学生を確保し、存続可能な大学としてあり続けるには、その内実を充実させるしかない。入学志願者(高校生)が魅力を感じる大学であるためには何が必要か、定員割れが深刻化し、衰退の一途をたどっているように見える一部の大学に見られる病理の検討を通じて、その条件を考えてみたい。

英語部会共催特別企画の開催報告

2017 年 10 月 29 日(日)、公益財団法人日本英語検定協会の後援を得て、2017 年度国際教育研究所特別企画(日本リメディアル教育学会英語部会共催企画)・「やる気を引き出す工夫と英語授業の改善—自律学習につながるアクティブラーニング—」を実施しました。参加人数は延べ 38 人でした。

■日時:2017 年 10 月 29 日(日) 10:00~17:00

■場所:公益財団法人日本英語検定協会 B 館 1 階会議室
〒162-8055 東京都新宿区横寺町 55

■プログラム

10:10~12:20 第1部

講演

「意欲を引き出す英語表現活動と学習者主体の指導の工夫—4技能の連動性を活かした英語を使う授業実践例—」

鈴木 政浩氏(西武文理大学:JADE 英語部会員)

授業実践発表

「英語基礎レベル学生を自律した学生に育てる授業改善の実践」

中西 千春氏(国立音楽大学:JADE 英語部会員)

安藤 香織氏(中央大学:JADE 英語部会員)

13:30~17:00 第2部

探求型英語教育を取り入れた新しい発想の提言とシンポジウム「自律学習につながるやる気を引き出す工夫と英語の授業改善」

登壇者:

勝又 美智雄氏(国際教養大学名誉教授)

鈴木 政浩氏(西武文理大学:JADE 英語部会員)

中西 千春氏(国立音楽大学:JADE 英語部会員)

安藤 香織氏(芝浦工業大学:JADE 英語部会員)

若林 陽子氏(千葉県立長生高校)

第3回 北海道支部総会・支部大会開催報告

日本リメディアル教育学会(JADE)北海道支部会の第3回支部大会(2017年度)を、下記のとおり開催いたしました。参加者は13名でした。

■日時:2017 年 11 月 11 日(土) 14:00~17:00

■場所:北星学園大学

■プログラム

14:00~15:30 ラウンドテーブル

「ICTを活用した全学的質保証の取組:CBTを活用した反転学修の事例を中心に」

小松川 浩氏(千歳科学技術大学)

「AO入試改革と今後の学習支援のあり方について」

塚越 久美子氏・菊池 明泰氏(北海道科学大学)

「全学ピア・サポート制度の運用と活動内容について」

中嶋 輝明氏(北星学園大学)

15:40~16:20 ラーニング・コモンズ見学

16:30~16:50 総会

ラウンドテーブルでは、まず小松川氏が、千歳科学技術大学における全学的なカリキュラム体系の見直しの概略を伝えるとともに、全学共通の基盤科目における CBT(Computer-Based Training)を活用した反転学修の実践事例について報告しました。

次に塚越氏が、北海道科学大学で2016年度より導入を開始した新しいAO入試制度「新ガリレオ入試」について、入試の目的、方法、受験生の様子などを報告しました。

最後に、中嶋氏が、北星学園大学における全学ピア・サポート制度について、制度の趣旨、活動の概要、活動を行う上で大切にしていることなどについて報告しました。

英語部会共催行事（2017冬期）の開催報告

日本リメディアル教育学会英語部会と英語教育実践研究会の共催による、2017年度冬の会を開催しました。今回は特別講師として和泉伸一先生（上智大学外国語学部）を招き、Content and Language Integrated Learning: Hard CLIL in Action というテーマでご講演いただきました。その後、各々の会員による研究発表がありました。その後、午後6時より学外で情報交換会に移り、午後8時過ぎに散会しました。今回は特別講師の興味深い講演のおかげもあり、25名の参加者がありました。

■日時:2017年11月19日(日) 13:00~17:10

■場所:東京女子大学

■プログラム

13:00~14:30 講演

「Content and Language Integrated Learning: Hard CLIL in Action」

和泉 伸一氏(上智大学外国語学部)

14:40~17:10 研究発表

「ヒューマンズチック Approach と Classroom Journal を活用した授業実践事例」

鈴木 政浩氏 (西武文理大学)

「アメリカの大学・コミュニティカレッジにおける学習支援の実態ー日本の高等教育への応用を考えるー」

壁谷 一広氏 (大阪体育大学)

「人工知能時代に向けて、外国語(英語)教育がなすべきこと」

浅野 享三氏(南山大学短期大学部)

会誌への論文等の投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限ります(編集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載することもあります)。掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしません。

【文責】藤田 大雪